

税制調査会（第21回総会）終了後の記者会見議事録

日 時：平成31年1月31日（木）15時37分～15時45分

場 所：財務省第3特別会議室（本庁舎4階）

### ○中里会長

本日の総会では、平成31年度税制改正の内容について、事務方から御報告いただくとともに、昨年の議論に関連して今後行う予定の海外調査について、委員の皆様にご確認をいただきました。

まず、平成31年度税制改正は、今後国会で税制改正法案の審議を控えている段階と承知していますので、これは立法府である国会で御議論いただくことになろうかと思えます。

海外調査について、本日、基本的な方向性は委員の皆様にご了解いただき、また、様々な委員から様々な御意見を頂戴しましたが、それらを基に入念に準備をしたいと思っております。せつかく手間暇かけるわけですから、効率的な成果が上がるような形で頑張りたいと思えます。

今後のスケジュールは、連結納税制度に関する専門家会合を来月にも開催できるのではないかと考えておまして、そうした専門家会合における議論の状況等も見ながら、検討を続けていきたいと思っております。

私からは以上です。

### ○記者

二点お伺いしたいことがあるのですが、今日、来年度改正の内容について報告と委員の方からの意見がありました。改正内容の結果について会長としての御意見や御見解、御評価をお伺いしたいのですが。

### ○中里会長

税制改正というのはプロセスでございますので、一年ぼっきりということではなく、昨年もあり、今年もあり、来年もあるという流れの中で考えていくべき話だと思うのです。だから、今年のものだけを切り取ってということではなくて、流れの中で考えていただきたいと思います。そういう点では、様々な問題に対する対応を考えながら、良い方向に少しずつ進んでいるのではないかと考えております。

### ○記者

もう一点が海外調査の件について確認されましたが、老後の資産形成と資産移転の中立性、資産課税に関するところも含めて調査するという事だったと思えますが、この二つのテーマは今年の一つの課題だと思うのですけれども、5月上旬までの調査結果が終わるまでこの件について、総会を開いて議論ということにはあまりならないということでしょうか。

### ○中里会長

海外調査の準備のために総会あるいは専門家会合なのか、それは分かりませんが、そういうものが必要な場合も出てくるかもしれませんので、今の段階ではまだ何とも申し上げられません。海外調査の内容自体もスペシフィックに中身が明らかになっているわけではありませぬので、何とも申し上げられないのですが、その都度できる限りきっちりと準備をした上で対応していきたいと考えております。

#### ○記者

海外調査ですが、戻ってこられて、その調査結果をこちらで精査されて、その結果のようなものは20年度の税制改正に向けて何かに盛り込んでいくのか、あるいはあまりそういうことは考えず、中長期的に行っていくのか、その辺はどうでしょう。

#### ○中里会長

老後の資産形成という話は、国によって対応の仕方が随分違うのだらうと思うのです。それぞれの国においてそれぞれの国の歴史があつて、社会情勢があつて、そういう制度ができていふのだらうと思ひますから、まずそれを客観的に整理する。それで、情報としてあそこの国でこゝやつており、こゝちの国ではこゝやつていふ。その背後にはこゝのような考へ方があり、こゝのような社会情勢があるといふことを整理するところが第一歩かと思ひます。それを基に中長期的にどのよゝな方向に踏み出すかについては次のステップとして当然考へていくといふ順番になるのではないかと思ひます。

#### ○記者

次のステップがいつといふのはまだといふことですね。

#### ○中里会長

調査に入る前にはなかなか難しいですが、ヒアリングを一生懸命して、調べて、それを整理するといふのにそれほど長く時間を掛けるわけにもいきませぬから。それから、調査に出かける前の段階でも実際には我々は調査をしていふわけですね。インターネット等を通じたり、例えば私でしたら、友人の外国の大学の先生にいろいろお聞きしたり、そういうことも地道に積み重ねていきたいと思つていふわけですね。

#### ○記者

ちなみに、委員を派遣といふのは、税調の委員といふ意味ですか。

#### ○中里会長

そうなると思ひます。

#### ○記者

議論の中でも少し話が出ていたと思ひのですが、昨日、プライマリーバランスの収支の試算が出ましたけれども、現在の経済成長ペースだと黒字化がなかなか難しいといふ試算だったと思ひのですが、会長としてどのように御覧になつていて、また、政府税調の議論の中でどのように生かしていきたいとお考へか教えてください。

#### ○中里会長

国家の収入があつて支出、歳入歳出といふこともありますが、そのバランスの中で

どういう方向性を政策的にとっていくかに関して私がそういうことの専門家ならよろしいのですが、必ずしもそうではありませんので、昨日そういうことがあったと。当分はそれを前提として私たちはどう考えていきたいと思いますということになる。もちろんもっと深く踏み込んで申し上げなければいけないこともあるかもしれないのですが、昨日、試算が出たばかりですから、今はそのくらいのことしか申し上げられないです。

○記者

ありがとうございました。

○中里会長

どうもありがとうございました。

[閉会]